

## 令和 2 年度定例会 12 月会議開会挨拶（令和 2 年 12 月 9 日）

令和 2 年度定例会 12 月会議の開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

11 月 25 日開催の第 64 回町村議会議長全国大会は、新型コロナ異常発症下、都道府県役員中心の異例の開催となりました。

今年度のスローガンとして、

- ・新型コロナウイルス感染症対策の徹底
- ・新たな過疎対策法の制定
- ・地方交付税等の一般財源総額の充実確保
- ・議会の機能強化及び多様な人材確保
- ・地方創生の実現による地域活力の再生
- ・地域の実情に沿った分権型社会の確立等を掲げ、

令和 3 年度予算編成・施策策定にあたって、具体的な 29 項目の要望を決議。

持続可能な地域社会の確立を目指して、「地方創生」を実現させるとともに、地域が抱える諸問題解決に向け、情報社会から、来るべき時代における様々な可能性を受け入れる体制整備を進めていく必要があるとし、新たな時代における町村議会のあるべき姿を求めて、我々議会人が、一致結束して、果敢に行動していくことを誓うと宣言しております。

「議会の機能強化、多様な人材確保の環境整備」についても、

- ・地方議会議員の位置付けの明確化
- ・議決事件に係る政令基準の廃止
- ・厚生年金への地方議会議員加入
- ・兼業禁止の緩和
- ・休暇、休業、復職制度の整備
- ・議会費に係る財政措置の充実
- ・主権者教育の推進
- ・統一地方選挙の再統一等13項目の実現を目指し特別決議しております。

福島町議会としても、宣言・決議の主旨をしっかりと受け止め、厳しい状況を勘案し、より一層研鑽に励み、活発な議会活動を推進しなければなりません。

師走となり、寒さも一段と厳しくなってきました。出席者各位には、お体ご自愛の上、本 12 月会議もまた、活発な討議が展開されます事を期待し、議事運営に協力をいただきますよう、お願い申し上げ、開会の挨拶といたします。